



# LONGIN

*We create in Tokyo Japan since 2011*

WEB MAGAZINE Vol.

15

キックビートのコンセプトを濃縮継承したキックビート 55mmは、70mmでは攻略しきれなかったシャローエリアやハイブレッシャー状況下のセレクトティブなターゲットに対し、出来るだけスローに長い時間アピールする事で口を使わせる事を可能にしたダウンサイジングモデル。キックビート 55は、ただサイズを小さくしただけではありません。ボディ形状、ウエイトバランスも徹底的に見直し、水抜きを少し抑え70mmのアクションより少しパイプ撻動を強く設定することで、小型サイズながら高い操作性とハイアピールを実現。ディゲームや水深のあるポイント、足場の高いポイントなどで、今までのパイプレーションやミノーでは攻めきれなかった場所を狙い打てる設計となっています。

**キックビート 70mm 20g 1,400円+税** (030,033(銀時仕様カラー)のみ1,500円+税)



**キックビート 55mm 12g 1,300円+税** (030,033(銀時仕様カラー)のみ1,380円+税)

最強波動を  
ぎゅぎゅつと濃縮!!

# KICK BAIT

背中のあたりに最大の体高を持つ菱形の一般的なパイプレーションとは違い、キックビートはボディ後方上下にヒレを配し、後方に向かうにつれて体高が高くなる独自の設計。このシルエットにこそ、キックビート最大の特徴である「水掻きの強い大きな波動」を生み出す秘密が隠されています。この独自のデザインを採用することで、「水平なスイム姿勢を葆ち、かつ強い波動を出す」という従来のパイプレーションの形状では両立が難しかった矛盾点をクリア。水平姿勢を葆ちながら強い波動でアピールできるため、ターゲットに違和感を与えずバイトに持ち込むことが可能です。また、ヒレが矢先の矢しりの役目を果たすことで飛行姿勢を安定させ、自重と相まって更なる飛距離を生み出します。

**初夏のディゲームに効果絶大!!**



カラー(左上から): 030: 銀時イワン(銀時)、032: ブルーマウンテッドベレー(シアン&黒)、034: 6ラ(レンズ&黒)、025: レンズキャンディー(銀時&黒)、029: ナタートルールオレンジ(ブルー)、031: カタオクオレンジベレー(メタリック)  
 032: ブラックキャンディー(マグマ)、033: ゴールドレインボー(オレンジ&黒)、034: グリーンゴールドイワン(ブラック)、035: キョウ(メタリック)、036: レンズチャートベレー(ブラック)、009: レッドヘッド(銀時(ブルー))



キックビートを用いた

河川  
**黒鯛攻略**

近年、そのゲーム性から急速に発展してきたターゲットの黒鯛（子ヌ）。西のトップ、東のバイブレーションというイメージが強いが、何故、東京湾でバイブレーションゲームが有効なのか？ 遠藤流メソッドを公開する。

Text by 遠藤真一



私は幼少の頃から黒鯛を追い求め、内房や外房の磯、沖堤や波止場に通っていました。あるとき、河川で潮目と思って見ていたのが、実は黒鯛の大規模な群れで、そのサイズと数に驚愕したのを今でも覚えています。

黒鯛を本格的に狙うようになったのはそれからです。千葉県では1月のバチ、2月の乗っ込みの第一陣、3月からの本陣。そして4月にキビレが釣れ始め、5月からは魚が河川に入り始めます。今年の始めには真冬に黒鯛を釣って欲しいという依頼を受けましたが、その口ケでも開始直後に無事キャッチ。まだ発展途上のゲームではありますが、黒鯛は通年狙えるターゲットとなりました。

好奇心が旺盛で雑食。ルアーで狙うのに、こんなにもパターンを増やせそうなターゲットは類を見ません。生息域も広く、磯、サーフ、波止、河川と何処にでも居るイメージで、シーバスのように仕事帰りに狙える身近なターゲットです。

こんなターゲットを本気で狙っている方、これから狙おうとしている方。はたまた、狙っているが釣れないという方へ、あくまで我流ですが、何年も試行錯誤してきた遠藤流の釣り方をここで紹介したいと思います。

# ストラクチャーに依存する個体

河川に入ってくる個体の多くはストラクチャーに依存していると言い切っても過言ではありません。

実際、護岸際で目視できる黒鯛のほとんどが、ストラクチャーに張り着いています。まずはその理由から説明しましょう。

黒鯛の多くは成長の過程で雄から雌へと性転換する魚で、房総では2月の春一番を契機に岸際へ“乗っ込み”、やがて産卵を迎えます。その後河川へと入ってきますが、疲れ果てた体を隠しながら、追い回す事なく簡単に捕食出来る甲殻類や貝類を食べて体力の回復を図るためにストラクチャーへ着くのです。関東でトップゲームが成立しにくいのはこのためだと思います。



河川での黒鯛ゲームは、テトラなどのストラクチャー周りがメインフィールドとなる。

## 点の釣りを意識する

ストラクチャーに張り着く黒鯛は、追い回す事なく捕食できる蜆などの貝、エビやカニ、ボケなどの甲殻類、上げ潮と共に流れ込んできてストラクチャーに引っ掛かるアオサなどの海草をメインベイトとして



黒鯛ゲームにおけるバイブレーションは、魚があまり動き回らずに捕食できるカニなどを模したルアーといえる。

ています。黒鯛の食性のスイッチを入れる『落ちてくるモノへの反応』を逆手にとったのが、ヘチ釣りなどの落とし込みの釣りです。

ストラクチャー脇であれば、カニが落ちてくるような動きを再現出来るルアーはバイブレーションになります。LONGINの動画でテスター山内氏が





紹介しているキックビートのイレギュラーなフォールがありますが、これもキックビートが強い理由のひとつですね。

ストンと落ちてもしロー過ぎてもしアクションバイトがなかなか得られませんが、キャストが決まった瞬間から黒鯛への誘いが始まっているのがキックビート。ピンポイントでの点の釣りにも強さを発揮してくれます。

テトラなどのマンメイドストラクチャーを狙う際に起こり得るデメリットとして、根掛かり、ラインブレイクは避けて通れません。ラインやタックルを強くして、パワーファイトスタイルに工夫しているアングラーも見られます。

それも間違いでは無いですが、私はフカセ釣りで乗っ込みの黒鯛を狙うのに、ときに水深2メートルを切るガチガチの磯場のシャローエリアで、限界までラインを細くして黒鯛を獲ってきました。ロッドの特性こそ違いますが、黒鯛についてちゃんと知ればラインを必要以上に強くせずとも、ファイト中にやられることはそうそう無いのです。

# 黒鯛に最適なバイブレーションとアワセ

キックビートには12g、15g、20gと三種類のウエイトがあります。私は黒鯛を釣るのにダウンに打つ事が多いですね。流れを考慮しながら、レンジをキープし易いウエイトをチョイスして刻んでいきますが、8番までフックサイズを落とすことで根掛かり対策をしています。

黒鯛のあの歯で潰されたり、貫通させるのに大きなアワセが必要

になるのでは？と質問を受けたこともありますが、私はフォールでのヒット以外は大きなアワセは入れません。ほとんどが巻き合わせだけで、その後に腰を回すようにスイープなアワセを入れています。

基本的に黒鯛用のロッドやライトなシーバスロッドで挑んでいる方が多いと思いますが私も同じです。50cmを超える黒鯛が多く生息するエリアで、ティップの入る柔らかいロッドでの電撃フッキングはバレに繋がると考えています。歯の間に中途半端に挟まった状態こそバレの原因ですし、電撃フッキングは群れの中に入った際にボディータッチすらアワせてしまうデメリットが付きまわってしまいます。

フックのサイズを落とし、刺さりを重視する。この設定なら口の中に入ったフックが歯の間を移動して唇にしっかり刺さる。黒鯛の唇の皮は牡蠣なども齧るので想像できると思いますが、非常に強くできています。ですから、貫通していれば唇の皮一枚でも充分なのです。

ルアーのカラーは、ゴールドレインボー、グリーンゴールド、ピンクチャートベリー、ブラックキャンディー、ギーコ、この辺りが主力になってきます。光量や水色に合わせてチョイスしていくと釣果も上がってきますので、ローテーションは大事ですね。



黒鯛で使用するルアーカラーの多くはアピール系が多く、シーバスで言うナチュラル系を外したセレクトになっている。

# 寄せるのではなく浮かせる!

ライトなロッドでのポンピングは遊びがあるため、ガチガチなストラクチャー際で黒鯛の突っ込みの餌食になり、やられる可能性が高いので、ストラクチャー付近で掛けたらいきなり寄せる行為は危険です。

まずはコース取り。ストラクチャーから外し、無闇なポンピングで怒らせてしまって潜らせないように、動きはじめたら寄せることもせずコンパスの半円を描くように、安全な自分より上流側までテンションだけを保ち魚を誘導します。ファイトが始まるのはそこからです。



遠藤氏が使用しているロッドは、ヤマガブランクスのパリスティック 92/12Evo (MAX21g)。ラインはヴァリアント PE0.8 号だ。



ストラクチャーに着いていた黒鯛が、異変を感じるとストラクチャーから離れる習性を利用したファイト方法ですが、上流で浮かせてしまえば、流れに乗せて寄せるのは容易です。この説明で、ヒット(アワセ)からランディングまで大きなアクションを入れずに行う理由がお解り頂けるのではないだろうか?

もう一度ポイントを確認してみると、

**【キャスト～着水～リーリング】**

このとき穂先がルアーに向いていることと、ロッドの角度は



水平以下が理想。ロッドに角度をつけると、ティップが巻きアワセの力を吸収してしまうからです。

### 【バイト】

伸びの少ないPEラインの特性を引きだし、巻きアワセでしっかりと柔らかいフッキングポイントへフックを移動させ、フッキングする。

### 【ファイト】

無闇に魚を暴れさせずに誘導し、安全な場所からロッドの性能を充分に引き出し浮かせ、寄せる。

このようになります。



## 捕食場であるサンドバーに集まる群れ

今いちばん注目しているのが、ブレイク（かけ上がり）に隣接するサンドバーに集まる群れを狙う釣りです。ここは潮位と流れが整うと黒鯛が群れで移動してくる場所であり、どんな釣りも成立し、根掛かりも少なく非常に釣りやすいところでもあります。

### 【サンドバーに有効なのは線の釣り】

ウェーディングなどで、ポイントに対して線で長い距離を狙う巻きの釣りにおいても、キックビートのメリットは大きいです。波動の強さ、イレギュラーなアクションなど、私はキックビートのただ巻きのみで釣っています。ロッド操作でスレ掛かってしまうことを考えると、ただ巻きでターゲットにアピールし口を使わせる事ができるキックビートの使用頻度が高いのも必然でしょう。

### 【攻略】

攻略法は極めてシンプルで、高低差のある一番高い部分を長い距離引いてくるだけなので、ウェーディングが有利になります。誰にでもできる単純明快な釣り方ながら、ハマったときの爆発力はナンバー1



といえる釣りです。

川を横に切るのではなく、限りなく縦に切る。キックビート 20g を用いてダウンにフルキャストし、ボトムから離さないギリギリの速いリトリーブスピードで、砂煙を上げて巻いてくるだけです。キモはボトムを離さないこと！ これによって地中生物や好物の甲殻類を意識させられるのです。馬の背であったり、かけ上がりだったり、高低差の大きい場所で、貝殻の多い砂地なら更によいですね。

群れの中を通すことで、競争意識を高め連続ヒットも容易になります。だからこそ浮かせてルアーを見せ過ぎず、ボディータッチしないようにボトムをとって、スレ掛かりやバラシで魚を散らさぬように、アワセずロッドを煽らず誘導してからファイトしてキャッチします。

ミスバイトがあっても、アワセなければ高確率で次のキャスト時にさらに深いバイトが出るはずです。枚数が増えなかったり、掛かるけどバレル、鱗だけ付いてくるといった経験があるかたは、是非試して欲しいですね。

警戒心が強く好奇心旺盛な、相反する性格を持つ黒鯛を幼い頃から狙い続けてきた結果がこのスタイル、そして遠藤流のキックビートの使い方です。ポイントや地域によっては効果の薄い場所もあるかと思いますが、黒鯛ゲームの参考にして下さい。



#### 遠藤真一 (えんどう・しんいち)

LONGIN.フィールドスタッフ。千葉県房総地域一体を知り尽くし、膨大な経験値と卓越した技術を併せ持つ、超実力派アングラ。シーバスだけでなく、青物やオフショア、雷魚など様々な釣りも得意。

LONGIN. が贈るフリーペーパー

# ロンジンマガジン Vol.3

弊社製品取扱店にて絶賛配布中です!



好評頂いている弊社のフリーペーパー『ロンジンマガジン』第3号がよいよ配布中!

今号はさらに増ページをしたレビン総力特集号。レビン開発秘話から使い方まで、弊社ルアーデザイナーである伊藤が解説しております。

ほかには弊社フィールドスタッフによるシチュエーション別の狙い方やカラーについての話なども収録しているので、シーバスの攻略ガイド本としても保存していただきたい内容になっています。

もちろんロンジン全製品のカタログも掲載。伊藤も愛読書としているロンマガ3号、無料配布本なのでぜひ店頭にてお手に取ってお持ち帰り下さい!

## ロンジンマガジン Vol.3

配布価格：¥0 (フリーペーパー)

版型：A5 版 36 ページオールカラー

発行：株式会社 LONGIN.

LONGIN. 製品取扱店にて無料配布中  
(数に限りがありますので、品切れによる配布終了の際はご容赦下さい)



**LONGIN**

WE STRIVE TO Tokyo JAPAN since 2011

# WEB MAGAZINE Vol.15

発行日：2014年8月7日

株式会社 LONGIN.